



広げよう「友好と奉仕」の輪

会長 西井 勝明

人類に奉仕するロータリー

本日は 第3020回 例会
プログラム
新入会員卓話
No.2832 3月2日(木)

次週以降の予定

3月9日(木)米山記念奨学会の国際大会報告
3月16日(木)滝川国際交流協会の年間事業の現状と課題
3月23日(木)滝川市こども発達支援センターの活動について

第3019回 例会報告

2017年 2月23日(木)

副会長挨拶



2月17日に「やまもと」さんとで会長幹事を開催いたしました。議題は地区大会で発表が有りましたグループの再編計画ですが、本来で有れば各クラブで決を採り、その結果をガバナー補佐に報告をするようになっていましたが、事前に報告書がガバナーに出ていますほとんどが「反対」ということでしたので、地区の再編は無くなりました。ただし例外があります。第10グループと第11グループは合併に賛成でしたので、合併をするかもしれません。合併になりましたらご報告いたします。

副幹事報告



- ①. 赤平RCより会報が届いております。
- ②. 2017-18年度版のロータリー手帳の申し込みは本日中午に橘さんへお申し込み下さい。定価は一部648円でございます。
- ③. 3月2日は第15回定例理事会を開催致します。5月に担当例会をお持ちの各委員長さんは事業実施計画書の提出をお願いいたします。
- ④. ロッカーの中が満杯になっている会員さんがおります。どうかお持ち帰りを宜しくお願い致します。



【社会奉仕委員会担当例会】

ーゲスト卓話ー



社会奉仕委員会 神部 俊克 委員長

講師は社団法人日本ソムリエ協会認定ソムリエの池田卓矢様でございます。池田様はワインと人をチームにしたワインセミナーの講師、そして北海道内ワイナリーガイド、札幌や空知管内でのイベント等で道産ワインの普及のためにご活躍をされております。レストラン等に勤務されているソムリエと違ひまして、テクニカルな話はせずワインの楽しさを我々に簡単な言葉でご説明をして頂きます。また2月19日に札幌でワインブラインドコンテストで優勝をされました。池田様は酉年なので今年も更に羽ば

たいて頂きたいと思ます。

今日はワイン、そして空知の重要な資源でもあります食を通じての地域振興についてお話を頂きたいと思ます。

「食を通じた地域振興の可能性」



社団法人 日本ソムリエ協会認定ソムリエ 池田 卓矢 様

ご紹介ありがとうございます。そして皆様の貴重なお時間を頂き北海道のワインのお話をさせて頂く事に感謝申し上げます。

皆様はワインがお好きでしょうか？お酒を飲めない方でも北海道のワインとか空知のワインを飲んでみたいと思って頂きたいと思ます。

実はワインがお好きな方のほとんどの方がフランス、イタリア、アメリカ、チリのワインが好きだけど、北海道のワインはあまり飲まないと言う方が多いんです。ですから、私のお話の後に北海道のワインを飲んでみようかな～と思って頂ければ嬉しいです。

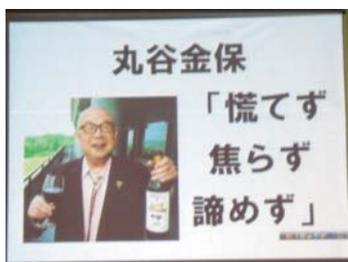
皆様のお手元に「そらちワインガイド」をお配りさせて頂きました。この冊子は結構コストのかかる物なでなかなか部数を用意するのは難しいのですが、今日は皆様全員へ行き渡るようにご用意をさせて頂きました。私は東京関東などで物産展を行うときなどはこの冊子をお配りしながら北海道と空知の魅力を伝え、そしてこの空知へ来て頂く活動もやらさせて頂いております。今日は私がこれまでやって来た事をお話させて頂きます。私のお話の中から何か気づき有れば幸いです。

私は道新文化センターで講師を26年やらさせて頂いております。札幌、岩見沢、砂川などで開講させて頂いております。それと空知のワイン生産者の会にも参加させて頂いて、空知のワインについてお話をさせて頂いております。北海道の農政部から北海道の食づくり名人という事で、道産ワインの魅力と可能性を伝えるワイン名人ということを頂いております。

私は旭川出身で旭川市は24歳まで住んでおりました。子供の頃はよく電車で札幌へ遊びに来ていました。その時に止まる駅が深川、滝川、砂川、美瑛、岩見沢などで降り降りする方々を子供心で見ている色んな街があるんだと興味を湧きました。そんな中で、2006年にシーニックパイウェイという団体との企画で北海道のワイナリーを巡ろうというガイド役として選ばれました。しかし私は、北海道のワイナリーがあまり好きではありませんでした。一番好きなのはフランスワインでして、最初に見てぶどう畑もフランスでしたが、2006年にそうしたお話を頂いてから、北海道のワインを勉強しなければならないという事で、浦臼でぶどう作りをしている今村さんや岩見沢の宝水ワイナ

リーなどへ行ってお話を聞きしたその時に、私は「このままじゃいけない」と思いました。なぜならば、ワインを生業にして生きていて北海道に住んでいて北海道のワインの事が何も知らない、こんな恥ずかしいことはないなと気づきました。ヨーロッパなどへ旅行に行くとその地域ではその地域でのワインしか売っていないのです。じゃ～日本のお店はどうかと言いますとフランス、イタリアなどのワインがメインで、日本のワインなどはデットスペースにしか置いてないんですね。地元に住んでいるのに地元の物を愛していない、そして地元の物を販売していない、情けないなということにやっと気づきまして勉強を始めました。

空知でワインセミナーやツアーでワイナリーを巡って、ワイナリーの方々のお話で、札幌ではワインは売れているけど地元ではなかなか売れない地元の方々の認識が低いということで、地元でワインを広めて行かなければならないと思いました。またそのきっかけになったのが十勝ワインでした。北海道では一番歴史のワインです。1963年にワインを発売し始めました。



その当時はワインなんか飲む人はいなかった。そんな中で十勝は何をしたかと言うと、自分たちがワインを好きになり自分達がワインを飲む文化を作って行かなければならないという事で「ぶどうの会」を作り、ヨーロッパなどに研修に行き、そこで学んだ美食文化を十勝地方に伝えたんです。この食文化をしっかりと空知に作り上げていけば空知の人達もワインを好きになるという思いで、空知でワイン会を始めるようになりました。



毎月開催しているのが岩見沢市の「彩食癒酒あみか」さんで行っております。次に砂川市のパークホテルで美味しいお食事を頂きながら開催しております。滝川市では「ブチラパン」さんで開催しております。

電車のスーパーカムイが止まる街で開催したいという単純な動機でしたし、子供の頃の思い出も有りました。まず地元の人にどんなワインでもいいから飲んでもらうことが大事だと思います。そこで地元の人達が私達の街にもワインがあったよねと気づいてもらえると思います。

ワイン活用セミナーも先日開催致しました。こ

れは飲食店さん向けのセミナーです。なかなかワインが扱いつらい、使えないという事でワインを学んで頂くという事で開催しました。このセミナーは今期だけでなく続けて行きたいと思っております。販売する側の方々を育てていくという活動も行っております。

空知には素晴らしい食材の宝庫でございます。この食材とワインを消費する側の皆さんと売る側のお店の方々と育てて行かなければならないと思います。飲む事、食べる事だけの行為なんですが私は「飲み支える、食べ支える」と言ってます。飲む事、食べる事でその産業を支えるということなんです。ですから沢山消費してブランド力を高めていくその事で飲食店さんもその産業も育てて行くと考えております。

私からの皆様へのお願いは「飲み支える、食べ支える、買い支える」です。何処かへ遊びに行く時のお土産は是非、地元の物を買ってお出掛けになってほしいと思います。それが地域を支える事になると思いますし、そのお土産を買った方が今度空知に行きたいな、と思って頂ければこの空知の活性に繋がると思います。



講話の感想 会報委員会 入井会員

2月23日はロータリー創立記念日です！112年を迎えました。今や世界200以上の国と地域に120万人の会員を有する国際組織になりました。素晴らしいですね!!



渡邊 恭久会員

桜井寿記さんご夫妻が結婚20年を迎え、関わりのある小生も嬉しく、これからもいい夫婦を続けてください。

西村 恒則会員

先週の担当例会、医者の不養生で欠席しました。多くの方にご迷惑をおかけしました。申し訳ございませんでした。深くお詫び申し上げます。

神部 俊克会員

担当例会を終えて。

会長／西井 勝明
幹事／坂本 和繁
編集／クラブ会報委員会

電子メール info@rotary.gr.jp
ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

例会日●毎週木曜日 PM0:30
例会場●ホテルスエヒロ
事務局●ホテルスエヒロ 7F

〒073-0032 滝川市明神町2丁目2-16
TEL(0125)22-3344
FAX(0125)24-2755



クラブ会報は再生紙を使用しています。